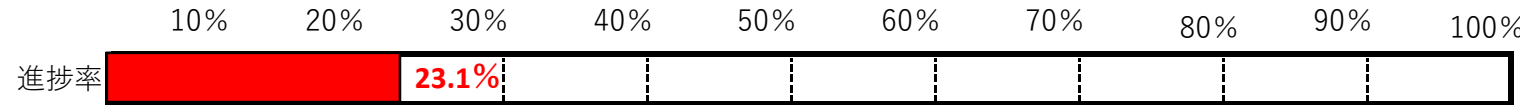


伊勢神改良事業

153号新伊勢神トンネル工事

令和7年4月

工事名 令和6年度 153号新伊勢神トンネル工事
 発注者 国土交通省 中部地方整備局
 名古屋国道事務所 豊田維持出張所
 受注者 前田建設工業株式会社
 工期 令和6年6月3日 ~ 令和9年3月31日



進捗状況 (R7.3.31 現在)
 トンネル掘削：
 1,423.5m/1,900m
 トンネル覆工：
 1,114.9m/1,900m

工事に関するお問い合わせ先
 前田建設工業(株) TEL 0565-77-6986
 作業所長・現場代理人 萬 正己
 監理技術者 長幡 侑樹

【お知らせ】

トンネル掘削は坑口より約1,423m地点迄進んでおります。
 破碎帯と呼ばれる地山の脆く崩れやすい区間を通過しましたが、地山は継続して脆弱な状態が続いております。引き続き地山の補強を行いながら、掘削を行ってまいります。

【施工状況写真】



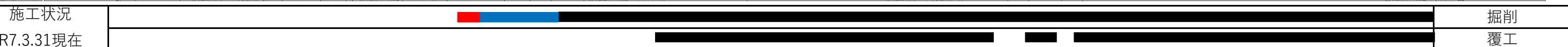
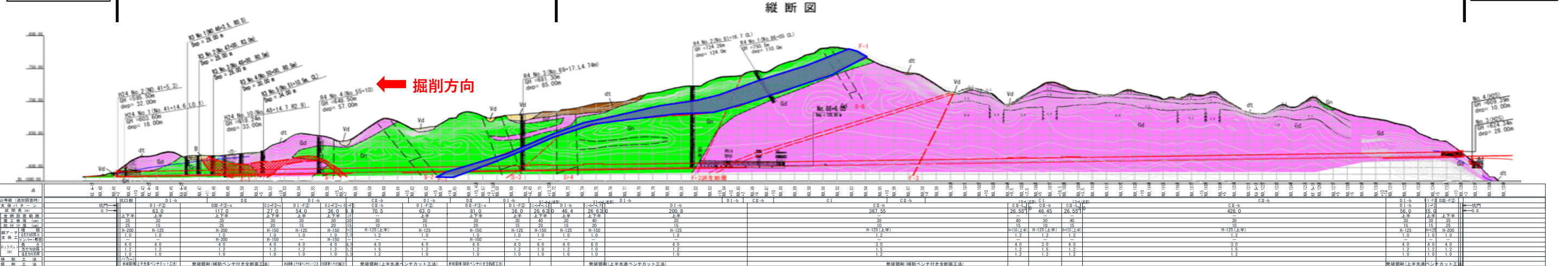
【計画工程表】

工事名 令和6年度 153号新伊勢神トンネル工事
 工期 自 令和6年6月3日 至 令和9年3月31日
 中部支店 新伊勢神トンネル作業所

工種	令和6年度												令和7年度												令和8年度												令和9年度											
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
準備工	■																																															
トンネル(NATM)													■																																			
トンネル掘削													■																																			
インバート													■																																			
覆工(標準部)													■																																			
覆工(非常駐車帯)													■																																			
坑門工																									■																							
中央排水																									■																							
仮設橋工	■												■												■												■											
残土運搬													■																																			
道路改良																									■																							
道路土工																									■																							
法面工																									■																							
擁壁工																									■																							
排水構造物工																									■																							
好悪補物撤去工																									■																							
交通管理工	■												■												■												■											
片付け工																																					■											

※ 現場状況によっては工程が変更になる場合があります。

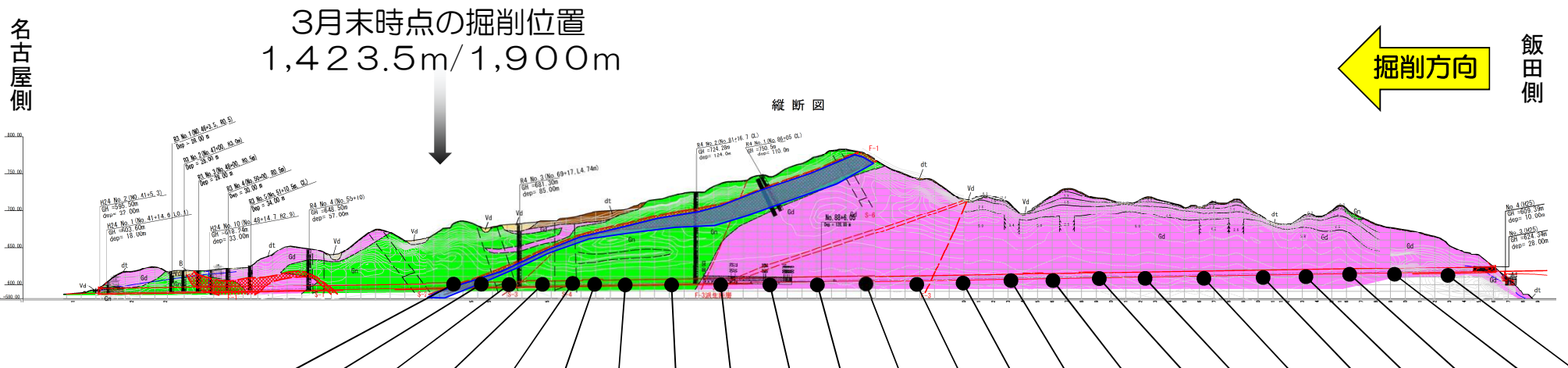
至：豊田市街 ← **今回工事にて施工 掘削長L=約620m** → ← **前工事にて施工済 掘削長L=約1,280m** → 至：飯田市



凡例：青 前月迄、赤 今月、黒 前工事

トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の含有量)

○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m³の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく含有量試験を実施しており、含有量試験結果では自然由来重金属等の基準超過はありません。



試験実施回数				第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
測点				No.63+17.0	No.66+7.5	No.68+17.5	No.71+7.5	No.73+4.5	No.74+2.7	No.77+4.3	No.80+9.3	No.83+16.3	No.87+3.3	No.90+9.3	No.93+15.3	No.97+3.7	No.100+9.7	No.103+15.6	No.106+11.2	No.109+12.8	No.112+14.0	No.116+0.0	No.119+6.0	No.123+14.4	No.126+0.4	No.129+6.4	No.133+2
試料採取日				R7.3.17	R7.3.6	R7.1.15	R6.11.28	R5.12.1	R5.10.4	R5.9.19	R5.8.31	R5.7.27	R5.7.2	R5.6.12	R5.5.29	R5.5.11	R5.4.13	R5.3.29	R5.3.13	R5.2.20	R5.2.2	R5.1.13	R4.11.25	R4.11.7	R4.10.18	R4.9.29	R4.8.31
判定 (○: 対策不要, ×: 要対策)				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
含有量	分析項目	目標値*	下限値	単位	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	
		カドミウム及びその化合物	45以下	4	(mg/kg)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	六価クロム化合物	250以下	5		4.5未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	4未満	
	水銀及びその化合物	15以下	0.05		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	セレン及びその化合物	150以下	5		0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	
	鉛及びその化合物	150以下	5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	砒素及びその化合物	150以下	5		7	6	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	5未満	
	ふっ素及びその化合物	4000以下	50		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ほう素及びその化合物	4000以下	50		110	90	90	60	50未満	50未満	50	50	60	70	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	
					50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	50未満	

今回工事 | 前工事

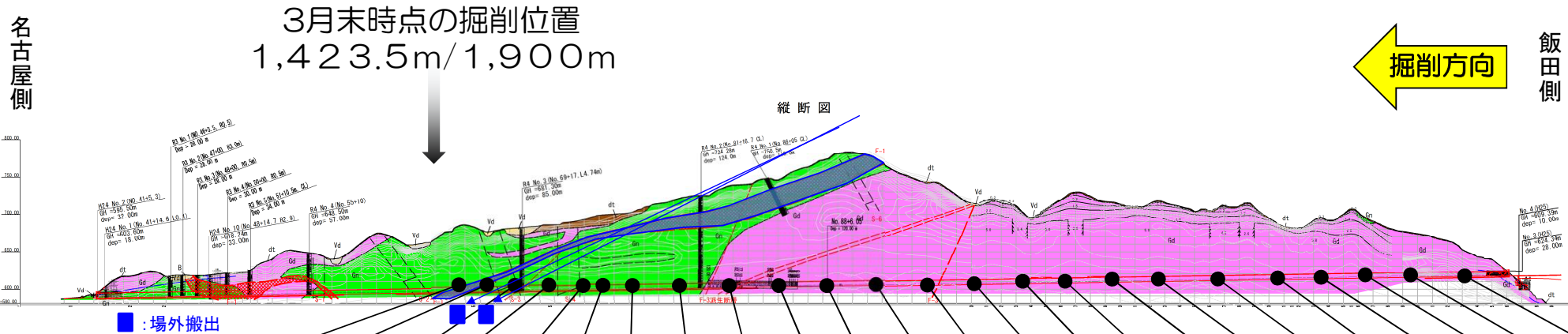
※ 目標値: トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壌含有量基準値を設定してモニタリングを行っています

凡例

○: 自然由来重金属等 基準内 ×: 土壌含有量基準超過

トンネル掘削岩石、ボーリング状況(重金属等の溶出量)

○現在のトンネル掘削区間では、1回/5,000m³の頻度で岩石を採取し、土壤汚染対策法に基づく溶出量試験を実施しており、溶出量試験結果で一部自然由来重金属等の基準超過がみられました。基準を超えた土砂は適切に処分しています。



試験実施回数			第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回	第15回	第14回	第13回	第12回	第11回	第10回	第9回	第8回	第7回	第6回	第5回	第4回	第3回	第2回	第1回
測点			No.63+17.0	No.66+7.5	No.68+17.5	No.71+7.5	No.73+4.5	No.74+2.7	No.77+4.3	No.80+9.3	No.83+16.3	No.87+3.3	No.90+9.3	No.93+15.3	No.97+3.7	No.100+9.7	No.103+15.6	No.106+11.2	No.109+12.8	No.112+14.0	No.116+0.0	No.119+6.0	No.123+14.4	No.126+0.4	No.129+6.4	No.133+2
試料採取日			R7.3.17	R7.3.6	R7.1.15	R6.11.28	R5.12.1	R5.10.4	R5.9.19	R5.8.31	R5.7.27	R5.7.2	R5.6.12	R5.5.29	R5.5.11	R5.4.13	R5.3.29	R5.3.13	R5.2.20	R5.2.2	R5.1.13	R4.11.25	R4.11.7	R4.10.18	R4.9.29	R4.8.31
判定 (○: 対策不要、×: 要対策)			×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
分析項目	目標値*	下限値	単位	不適合	不適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合
	溶出量			(mg/L)																						
カドミウム及びその化合物	0.003以下	0.0003		0.0003未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
六価クロム化合物	0.05以下	0.01		0.01未満	0.01未満	0.02	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
水銀及びその化合物	0.0005以下	0.0005		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
セレン及びその化合物	0.01以下	0.001		0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
鉛及びその化合物	0.01以下	0.001		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
砒素及びその化合物	0.01以下	0.001		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				0.055	0.021	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001	0.002	0.003	0.001	0.002
ふっ素及びその化合物	0.8以下	0.08		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.11	0.08未満	0.1	0.11	0.08未満	0.21	0.42	0.08未満	0.67	0.34
ほう素及びその化合物	1.0以下	0.1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
中性水添加によるpH	-	-		9.5	9.5	12.0	-	9.5	9.3	9.3	9.4	10.7	9.3	9.4	8.9	10.2	9.5	10.5	9.6	9.7	9.3	9.6	9.9	-	-	-
過酸化水素添加によるpH	-	-		11.0	7.7	11.5	7.3	6.8	6.9	6.3	8.7	9.3	6.7	6.7	6.8	6.8	7.0	8.9	6.5	6.7	6.9	7.3	6.8	-	-	-

今回工事 | 前工事

* 目標値: トンネルの掘削岩石は、土壤汚染対策法の適用外となりますが目標値として土壤溶出量基準値を設定してモニタリングを行っています

凡例

○: 自然由来重金属等 基準内 ×: 土壤溶出量基準超過

基準を超えた土砂への対応について

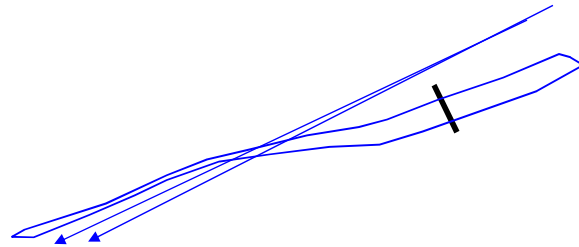
- 本掘削に先立ち先進ボーリングを行い、どの地点で砒素が不適合となるかを事前に把握しながら工事を進めています。
- 今回確認された基準超過の土砂は、先進ボーリングにて事前把握し、汚染土壌処理施設へ場外搬出し適切に処分しております。

名古屋側

3月末時点の掘削位置
1,423.5m/1,900m



飯田側



水質モニタリング状況(3月の水質調査結果)

○水質モニタリングは、毎月残土処分場周辺で河川や沢水に重金属が含まれていないか確認するために実施します。
 ○重金属等は、これまでに1回/1月の頻度で実施しており、これまでの分析結果では異常は認められていません。



地点名	地点概要	採水日	分類 (基準)	重金属項目							水素イオン濃度 (pH)	一般項目 (-) 電気伝導率 (mS/m)	判定		
				検査名	カドミウム	総水銀	セレン	鉛	砒素	六価クロム				ふっ素	ほう素
				参考値※	0.003mg/L以下	0.0005mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	0.02mg/L以下				0.8mg/L以下	1mg/L以下
①	阿摺川	2025年3月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○		
			0.0003 未満	0.0005 未満	0.002 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 未満	0.05 未満	0.05 未満	7.2	8.28	適合		
②	段戸川		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○		
			0.0003 未満	0.0005 未満	0.002 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 未満	0.05 未満	0.05 未満	7.1	4.09	適合		
③	沢水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○			
		0.0003 未満	0.0005 未満	0.002 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 未満	0.08	0.05 未満	7.6	14.76	適合			
④	沢水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○			
		0.0003 未満	0.0005 未満	0.002 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.01 未満	0.05	0.05 未満	7.6	9.02	適合			

参考値超過

※ 参考値：自然由来重金属・pHともに環境基準を参考値として設定し、モニタリングを行っています